

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		公立保育所施設整備事業						予算事業名		公立保育所施設整備事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分								
				03	02	04	2001	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)							事業の区分		主要事業					
		1-3安心して子育てできる児童福祉の充実（児童福祉）														
		②保育環境の充実							担当課係等		子ども福祉課					
		4公立保育所の整備									保育係					
事業期間		継続（ 年度～ 年度）														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
安心安全な保育環境の確保								・公立保育所の老朽化 ・民営化や統廃合を進めている自治体もある								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
公立保育所に入所する児童に安心安全な保育環境を提供するため，適切な施設整備（建設・改修・修繕工事）を行う。								公立保育所に入所している児童及びその保護者								
								【事業をとりまく環境の変化】 公立保育所の老朽化に伴い，施設整備に係るコストは高まっており，保育ニーズを把握しつつ，公立保育所の大規模改修や民営化等も視野に入れての検討が必要な時期にきている。								
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】								
・室内手洗場改修工事（山川保育所） ・室内壁補修工事（上山川保育所）				・室内補修工事（城西保育所） ・室内壁補修工事（山川保育所） ・オイルタンク撤去工事（上山川保育所）				・給食用トイレ改修工事（城西保育所） ・オイルタンク撤去工事（城西保育所） ・テラス改修工事（山川保育所）								
■事業費																
				H30年度		R01年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	3,359	1,994									
歳入計（千円）				3,359		1,994										
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）									
	15 工事請負費				3,359		1,994									
歳出計（千円）（A）				3,359		1,994										
伸び率（％）						-40.63										
備考	総合計画 58ページ 予算書 90ページ															

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	安心安全な保育環境を維持するため、必要性は高い
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	
	手段の妥当性	A 妥当である	
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
施設維持に様々な修繕が必要であり、費用的な問題がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
児童が入所している以上は、安心安全な保育環境の維持を図るため事業を継続していく。ただし、今後の保育所の統廃合も含めた計画的な整備計画が必要である。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 施設の老朽化対策について計画的に取り組む必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	